

事業実績シート

1 事業の概要

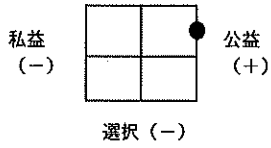
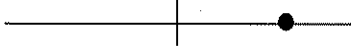
協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input checked="checked" type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業		
自治体(団体)事業名	時津町 定住促進支援事業		
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名
	時津町	総務部 企画財政課	赤水 萌
事業期間	開始年	平成30年(1年目)	
事業実施手法	<input checked="checked" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]		
実施期間	(開始日)平成30年 4月 1日 (完了日)平成31年 3月31日		
委託した場合の委託内容	委託先機関名	担当者名	連絡先(TEL)
	-	-	-
	(委託内容)		
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)	
	1,時津町の地方創生推進のため、地元有識者で構成される時津町民総活躍プロジェクト推進委員会委員 2,町内在住者および町外在住者	1,住民が地域に誇りや愛着を持ち「住み続けたい」と思えるようなまちづくりを行っている地域の視察を行い、各委員の見聞を広める。 2,時津町の魅力を知って、時津町に住んでみたい、またはこれからも住み続けたいという気持ちを高めたい。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	1,先進地視察 時津町の定住促進を支援し、各委員の見聞を広めるため、地域・民間主体でまちづくりの推進を行っている地域を訪問する。 訪 問 先 こだいら観光まちづくり協会(東京都小平市) 日 時 平成30年12月18日(火)～平成30年12月19日(水) 対 象 時津町民総活躍プロジェクト推進委員会委員 項 目 ・協会の運営状況について ・協会の活動内容について ・まちづくりに関する意見交換 など 2,時津町のPR活動 平成30年4月から平成31年3月まで、国道206号線井手園交差点の屋外電光掲示板で、時津町のPR動画を放映する。 また、移住パンフレットやイラストマップを作成し、町内だけでなく町外の方にも時津町についてしてもらい、移住・定住のきっかけをつくる。		
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景) 時津町の定住促進支援に向け、パンフレットやイラストマップ、動画放映などにより時津町の魅力をアピールするとともに、地域・民間主体で定住促進に取り組む地域を訪問し、先進事例の取り組みを学ぶ。 (経緯・現状) 本町の人口は、2010年国勢調査では30,110人となり、はじめて3万人を突破した。2015年国勢調査では29,804人で前回から300人もの大幅減少となった。要因は、大学進学や就職時に大都市への転出する若者が多いことなどであり、今後も住み続けたいと思えるまちづくりが必要である。		

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)		-	-	2,365,277				
(財源内訳)	国庫支出金	-	-					
	県支出金	-	-					
	地方債	-	-					
	その他	-	-					
	市町振興共同事業助成金	-	-	1,000,000				
	一般財源	-	-	1,365,277				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①				目標	-	-	
					実績	-	-	
					目標達成率 (%)	-	-	
	②				目標	-	-	
					実績	-	-	
					目標達成率 (%)	-	-	

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い (-) 妥当性高い (+) 	(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) 時津町民総活躍プロジェクト推進委員会を立ち上げたことにより、地域住民の機運が高まっている。定住促進の支援に取り組むことで、高い費用対効果が得られる。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 今回の視察で、こだいら観光まちづくり協会と意見交換等を行ったことにより、時津町での取り組みに生かすことができないか検討する。	
	実施予定 期 日		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		将来的には「時津町民総活躍プロジェクト推進委員会」から移行する形を検討している。まだ現状の段階では行政が主導となり、官民協同の取り組みの推進を行う必要がある。
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		定住促進支援による直接的な利益が得られていないため、歳入の確保は困難である。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	時津町の定住促進のため、地域の住民が住み続けたいと思うだけでなく、町外在住者が移住したくなるようなまちづくりを今後も継続する必要がある。				